

視覚障害者を安全誘導

白杖でテープの色識別 T.N.K.システム

【立川】床にテープを貼ることで、視覚障害者を安全に誘導。T.N.K.（東京都日の出町、田中信之社長、042・597・6578）は、色を識別し振動により視覚障害者を誘導する白杖システム「マイ・ケーンII写真」を開発、6月から販売する。点字ブロックだけでなく、床にテープを貼って建物内を安全に誘導する。ラインテープ施工を含めて事業化する。価格



は白杖が1本5万円。施工を含め、自治体の施設や病院、金融機関、宿泊施設などへの導入を目指す。杖の先端に組み込んだR

GBセンサーが、テープの色を識別して杖が振動。色により振動が異なっており、目的地へと誘導する。黄、赤、緑、青、白の5色

を識別。太陽光と室内用照明による色調差の補正などは電気通信大学の長井隆行助教授と共同開発した。杖のサイズは直径18mm、長さ1200mm、重さ260g。単3電池2本で連続10時間稼働する。T.N.K.では白杖誘導システムに伴うラインテープ、点字ブロックの施工も自社で行う計画で、1月に商品事業部を立ち上げた。現在4人が専従。数年内に年間1000カ所にシステムを販売・施工し、10億円規模の年間売り上げを目指す。